

大阪湾漁場環境速報

平成27年3月10日発行
兵庫のり研究所

例年この時期に大量発生が見られるスケルトネマは、先月始め～中頃までは大量発生が確認されましたが、以降少ない状況が続いており、今回調査においても珪藻類はほとんど確認されませんでした。そのため、窒素は全域で5 $\mu\text{g-at/L}$ 以上と平年より高い値となっており、降雨（気象庁アメダス観測値より神戸 3/7:19.0mm、3/9:18.5mm）がありましたので、さらに栄養塩の供給が見込まれます。例年、穏やかな晴れの日が続くと小型珪藻の増殖が見られますので、気象及び珪藻の動向に注意して下さい。

(水温) 表層は湾内9℃後半～11℃台で、平均10.2℃。平年比約0.6℃高い。-10m層は平均10.3℃

(塩分) 表層平均30.68psu。-10m層平均31.80psu。

(栄養塩、他) 表層の窒素濃度は平均9.7 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン濃度は平均0.51 $\mu\text{g-at/L}$ 。-10m層(平均)は、窒素6.1 $\mu\text{g-at/L}$ 、リン0.44 $\mu\text{g-at/L}$ 。ほぼ全域で窒素・リンともに平年より高い値を示した。栄養塩を大量に消費する植物プランクトンはこの海域においてほとんど確認されない。透明度は3.5～7.5mで平均5.5m。

上段 (今回値)	平成27年3月9日調査
中段 (昨年値)	
下段 (平年値)	3月上旬

調査地点	水温 (°C)	塩分 (psu)	三態窒素 ($\mu\text{g-at/L}$)	リン ($\mu\text{g-at/L}$)
04	11.2	32.35	7.0	0.41
	10.5	32.66	3.4	0.32
05	10.1	31.68	5.8	0.42
	9.4	31.92	3.1	0.22
06	10.2	31.62	6.0	0.43
	9.3	31.57	4.4	0.23
07	10.1	31.09	8.1	0.43
	9.6	32.00	2.0	0.22
08	10.1	31.62	6.0	0.42
	9.7	32.06	2.0	0.22
09	9.9	31.19	6.5	0.35
	9.7	32.03	2.1	0.22
010	10.0	31.53	6.6	0.41
	9.4	31.75	1.3	0.13
012	9.8	30.28	10.9	0.55
	9.4	30.88	5.8	0.20
013D	9.7	29.92	13.2	0.59
	9.2	30.46	6.9	0.16
016	9.8	27.09	21.1	0.83
	9.2	29.72	10.5	0.20
017D	9.8	26.92	45.2	1.75
	9.3	28.77	22.7	0.37
018	9.9	26.35	25.3	1.03
	9.4	23.52	33.2	0.73
S1	9.9	30.83	8.5	0.49
	9.1	30.95	5.6	0.18
S2	9.8	27.58	20.7	0.80
	9.0	30.44	6.1	0.14
S3	9.8	29.48	13.2	0.58
	9.6	31.35	3.1	0.14
S4	11.4	32.53	6.3	0.44
	10.2	32.47	2.8	0.28



